

東京∞散歩1(第1コース) 令和6年度の予定

令和6年2月1日

令和6年度の東京∞散歩1(第1コース)の予定をお知らせします、毎月第3火曜日で講座、見学会を繰り返します。座学の開催は阿佐ヶ谷地域区民センター第3集会室か第1集会室です。

区民センターは抽選のため変更になる場合があります、その時はお知らせします。(詳細、地図は最後のページにあります)

講座は 9:30 から 11:50。見学会は 10:00 現地集合、15:00 頃解散

令和6年度予定

4月16日(火) 講座: 新宿、渋谷の歴史と建築

5月21日(火) 見学会: 新宿周辺の散策 集合: JR 新宿駅新南改札(新宿バスタ下、代々木寄り)

6月18日(火) 見学会: 渋谷周辺の散策 集合: 渋谷ハチ公前

7月16日(火) 講座: お茶の水周辺の歴史と建築

8月20日(火) 講座: 駒込周辺の歴史と建築、六義園と旧古川庭園を中心に

9月17日(火) 見学会: お茶の水周辺の散策 集合: JR お茶の水駅 お茶の水橋改札(新宿寄り)

10月15日(火) 見学会: 駒込周辺の散策 集合: JR 駒込駅北口改札

11月19日(火) 講座: 横浜、三溪園や山手の西洋館と競馬場について

12月17日(火) 見学会: 横浜 三溪園を中心に散策 集合: みなとみらい線 日本大通り駅改札
令和7年

1月21日(火) 見学会: 深大寺周辺と深大寺そばの歴史 集合: 深大寺入口石段下

2月18日(火) 講座: 神田周辺、内神田と外神田、神田川のうなぎ、神田鋳物師の歴史と作品

3月18日(火) 見学会: 神田周辺の散策 集合: JR 神田駅 東口(中央通り方面口)改札

見学会の詳細

5月21日(火) 見学会: 新宿周辺の散策 甲州街道の宿場町「内藤新宿」からデパートが進出してくる
昭和初期までの歩み

集合: JR 新宿駅新南改札(新宿バスタ下、上りホームの先頭代々木寄りの階段で) 10:00



新宿の高層ビル街を歩き、高層ビルの建築家とその特徴を考える。内藤新宿からデパートの進出してくる昭和初期までの歩みを探ります。

大宗寺、信州高遠藩主内藤家の菩提寺であった。都内最大の閻魔像があり、江戸時代から新宿の閻魔として親しまれてきた。また江戸六地藏の一つもここにある。江戸庶民に親しまれてきた閻魔像や、奪衣婆像、三日月不動像などの多数の文化財と、かつての甲州街道の宿場「内藤新宿」の様子を紹介する新宿ミニ博物館「内藤新宿太宗寺の文化財」が設置されている。

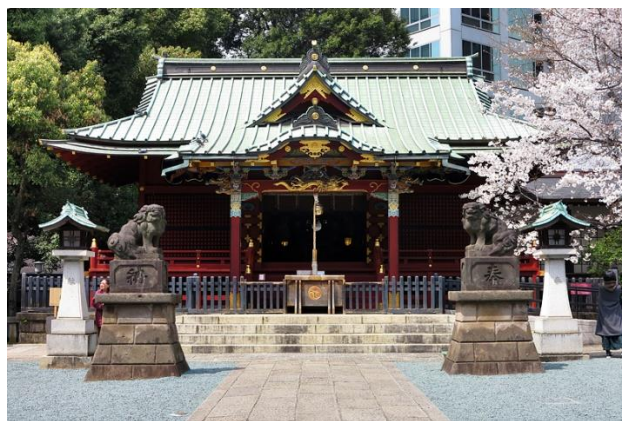


6月18日(火) 渋谷周辺の散策 以外に知らない渋谷を散策します

集合： JR 渋谷駅前 忠犬ハチ公前 10:00

交通： JR 荻窪中央線快速 9:16→9:30 新宿山手線内回り 9:39→9:47 渋谷

道玄坂 江戸時代、和田義盛の残党、大和田太郎道玄が、渋谷氏滅亡後にこの坂に出没し、山賊野盗のふるまいをしたところから命名されたとの説あり。山賊を思いながら今の道玄坂を歩きます。



金王八幡宮 社殿は春日局、家光将軍決定の御礼として建立された総漆塗社殿。

堀河天皇より渋谷の姓を賜り、当八幡宮を中心に館を構え居城とし、渋谷氏は代々当八幡宮を氏族の鎮守と崇めました。これが渋谷の発祥ともいわれています。渋谷城は、東に鎌倉街道(現 八幡通り)、西に渋谷川が流れ、北東には黒楡谷を有し、さらに数箇所湧水があるという好条件を備えていました。

国学院大学、キャンパスは近代的な建物、その横に博物館があります。大学の博物館ではありますが近代的な展示スペースで考古学を中心とした素晴らしいものです。

9月17日(火) 見学会: お茶の水周辺の散策

集合: JR お茶の水駅 お茶の水橋改札(新宿寄り) 10:00

交通: JR 荻窪中央快速線 9:28→9:49 お茶の水

ニコライ堂 日本ハリストス正教会の聖堂。ギリシャカトリックの大主教カサーツキン・ニコライが1891(明治24)年に建立したもので、以来、ニコライ堂の名で呼ばれてきた。建物はロシアの美術家シチュルポフが設計、J・コンドルが修正して完成したもので、平面はギリシャ十字形のビザンチン式、煉瓦造の建築。中央ドームの高さ約38m、ほかに尖塔状の鐘楼がついている。現在の建物は関東大震災後、昭和4年に修復されたもの。



湯島聖堂、1690年、上野忍岡の林羅山邸内にあった孔子廟を五代将軍・綱吉がこの地へ移したのがはじまり。1797年には、西隣に幕府直轄の昌平坂学問所が開設された。現在の建物は、関東大震災後の1935年に鉄筋コンクリート造りで再建したもの。

10月15日(火) 見学会: 駒込周辺の散策 集合: JR 駒込駅北口改札 10:00

交通: JR 荻窪総武線各駅 9:15→9:30 新宿、山手線外回り 9:36→9:52 駒込

六義園は造園当時から小石川後楽園とともに江戸の二大庭園に数えられており、元禄8年(1695年)、五代将軍・徳川綱吉より下屋敷として与えられた駒込の地に、柳澤吉保自ら設計、指揮し、平坦な武蔵野の一隅に池を掘り、山を築き、7年の歳月をかけて「回遊式築山泉水庭園」を造り上げた。庭園は中の島を有する大泉水を樹林が取り囲み、紀州(現在の和歌山県)和歌の浦の景勝や和歌に詠まれた名勝の景観が八十八境として映し出されています。



旧古川庭園は、もと明治の元勲・陸奥宗光の邸宅でしたが、宗光の次男が古河市兵衛の養子となったことから、古河家の所有になった。英国ルネサンス風の洋館と洋風庭園は、鹿鳴館の設計を手がけたイギリス人ジョサイア・コンドルの設計になるもので、大正初期の庭園の原型をとどめる貴重な存在であり、京都の庭師・植治の手がけた日本庭園との美しい調和を生み出している。

駒込富士神社と富士塚、歴史ある神社なのです。参道には御神木含めかなりの巨木がそびえ立っていて、まっすぐ奥まで進むと数々の講碑や賽銭(さいせん)箱、その先に山頂へ向かう石段があり、風情を感じられます。



12月17日(火) 見学会: 横浜 三溪園を中心に散策

集合: みなとみらい線 日本大通り駅改札 10:00

交通: 東京メトロ丸の内線荻窪 8:37→8:53 新宿三丁目、副都心線急行元町・中華街行 9:04→9:51
日本大通り

三溪園は、製糸、生糸貿易で財を成した実業家・原三溪が明治 39(1906)年に開園した敷地面積 18 万平方メートルの広大な日本庭園です。東京ドーム 4 個分の広大な敷地には京都や鎌倉などから集められた歴史的建造物 17 棟が自然豊かな園内にたくみに配置されています。園内にある臨春閣や旧燈明寺三重塔など 10 棟は、重要文化財に指定されています。梅や桜、ツツジ、紅葉などの名所として知られ、外国人にも人気が高い、横浜でも有数の日本文化が体験できる観光スポットです。秋の三溪園、紅葉が残っていると良いですね。



1月21日(火) 見学会：深大寺周辺と深大寺そばの歴史 集合：深大寺入口石段下 10:00
交通：吉祥寺駅南口から30分 バス乗り場 6番 吉04 深大寺行き 9:00、9:15 深大寺終点
4番 吉06 調布駅行 9:09 9:24 深大寺入口下車1分
調布駅からは10分 吉祥寺行 吉14, 三鷹行 鷹66 深大寺小学校前下車1分



深大寺は厄除けで知られる天台宗のお寺です。約1300年前の奈良時代に開山されて、都内では浅草寺に次ぐ長い歴史を持つ古いお寺のひとつでもある。ご本尊は本堂に安置の阿弥陀三尊像で秘仏です。通常は公開されておらず、美術館の特別展などでたまに公開されることがある様です。深大寺といえば厄除け大師と言われているほどで、毎年10万人以上が訪れる日本三大だるま市の「深大寺だるま市」は全国的に有名です。

国宝 釈迦如来像は穏やかな微笑みをたたえる飛鳥時代後期(白鳳期)を代表する仏像です。本像は、東日本最古にして都内寺院唯一の国宝仏です。

ランチは深大寺そばの歴史を学びながらおそばを頂きましょう。

3月18日(火) 見学会：神田周辺の散策 集合：JR神田駅 東口(中央通り方面口)改札 10:00
交通：JR荻窪中央線快速 9:25→9:49 神田



神田明神は江戸総鎮守神田明神として広く庶衆の信仰を集めた。徳川将軍の江戸城拡張に際し、元和二年長(うしとら)の鬼門の守護神として現在地に遷座され、歴代将軍家の尊崇篤く、神田祭は天下祭と呼ばれた。その後明治天皇の御親拝を仰ぎ、現在は東京の中心 108 町の氏神として崇められている。

松本家住宅主屋は大工棟梁・松尾栄太郎の設計施工で昭和 6 年に建築された、神田多町問屋街に残る震災復興町家です。神田に残る元青果物問屋の店舗兼住宅。多町大通りに面した角地に東面して建っているため、狭い間口と長い奥行きが対比がよく見えるところもポイントです。木造三階建、切妻造、平入で、正面は特徴的な「出桁造」の構えをとり、北妻面は窓の少ない防火に配慮した造りとなっており、東京の下町における震災復興期の和風町家として貴重なものです。



万世橋は神田須田町一丁目と外神田一丁目を結ぶ橋です。最初は明治 17(1884)年に架けられた木橋で「昌平橋」と呼ばれ、その後、「新万世橋」→「万世橋」と名称を替えました。明治 36(1903)年にほぼ現在の位置に架けられましたが、関東大震災で被害を受け、昭和5年に長さ 26m、幅 36m の RC 造アーチ橋が完成しました。この橋は、巨大でアールデコ調の橋灯付き親柱が特徴です。

「いせ源」は昭和 7 年(1937)の竣工。徳川 14 代将軍家齊の治世、天保元年(1830)の創業。店舗は、創業時から神田連雀町(現在の神田須田町)にあります。関東大震災で家屋が全焼し、その後に、現在の

建物で営業しています。

入母屋造りと2階の欄干に施された、菱形模様の彫りが特徴。木製の看板は建築当時から使用(平成8年補修済)しているものです。

講師： 松本裕介

世話役： 岡本光正

166-0001 杉並区阿佐ヶ谷北5-23-4、 03-3330-7858、080-6526-1900

mokamoto@dp.u-netsurf.ne.jp

参加の仕方：

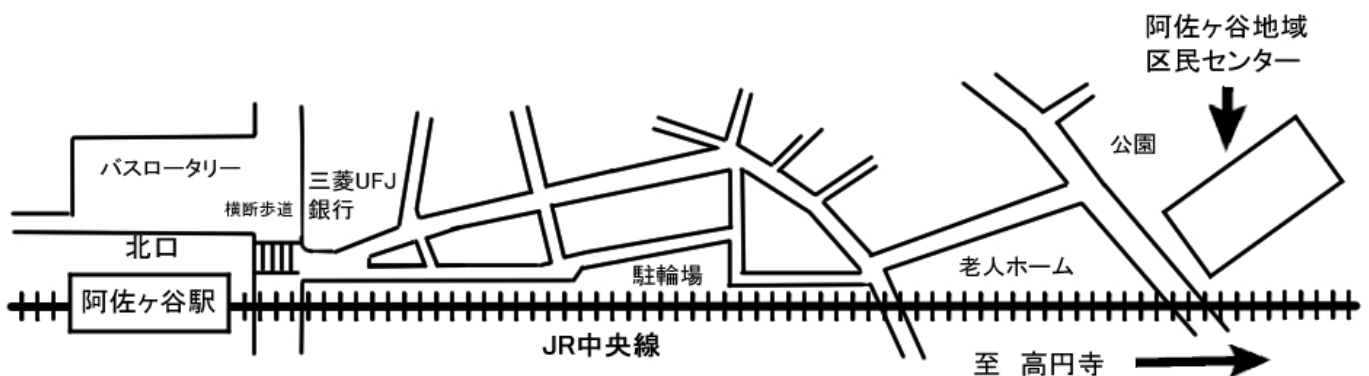
- ・東京∞散歩は年間を通して毎月開催、講座、見学会を繰り返します。
- ・講座、見学会とも事前の申し込みは義務ではありませんが、事前に連絡を頂ければ幸いです。見学会ではランチの予約が必要な場合は連絡が必要です。
- ・皆さんが聞きたい話、行きたい街、場所があれば是非お伝えください。ほとんどのリクエストにお答え出来ると思います。また講座内容は時々変わることがありますのでご承知ください。
- ・参加費、講座 1600 円、見学会 2,100 円、毎年初めに通信費等として 1,000 円いただきます。

他：

- ・この講座は「NPO 法人 学びの楽園」の事業部「すぎなみ松本カレッジ」として活動しています。
- ・松本先生は「東京∞散歩」という本を出版しています(3,500 円で購入できます)。この本の中にある地図を NPO のホームページで見ることができるよう開発を行っています。これを皆さんが利用していただけるようにして、本当の「東京∞散歩」を実現します。

阿佐ヶ谷地域区民センター(03-5356-9501)地図

阿佐ヶ谷駅1F改札出て真直ぐ、NewDaysコンビニの右通路を真直ぐ入り、ガード下を直進。



注) 区民センターの部屋利用案内の表示について、下記3つの団体の名前を利用していますので注意してください。下記いずれかの団体名が我々の利用のお部屋です。

- ・すぎなみ松本カレッジ
- ・すぎなみ古建築・古美術研究会
- ・すぎなみ学びの楽園